



つむぎすな 紡ごう! 所沢 動け!

『文教都市所沢』

平成24年度市長施政方針演説から...

の実現に向けて...



東日本大震災が発生してから、1年が経ちました。振り返れば、震災直後、日本人すべてが、他者を思い、自己を見つめ、自問していたのではないのでしょうか。

「自分が何ができるのか」「人が生きるとはどういうことか」そして、原子力発電所の事故を見て、多くの人が思ったのではないのでしょうか。「幸せの物差しを変えてみよう!」と。少なくとも私はそう思いました。そして、「時代は新しい局面に変わったのだ」と信じています。

あの日感じた気持ちだけは日本人みんなが忘れてないで、大人がみんな「しゃん」として、動いて行かねばならないのだ」と思っています。

その上で、「動け! 所沢 紡ごう! 絆」なのです。市民の皆様への期待「動いてほしい」を、そのうえで実践し、絆を紡ぐ施策を追求します。

具体的な政策につきましては、「文教都市 所沢」の実現を目指し「教育」「環境」「福祉」「自治」「文化」「ブランド」「行政」の各分野に対する「5つの思い」を市政運営の柱とし、強い信念で取り組んでいきます。

平成24年度は、私にとって初めの一歩となります。前例にとられず、機をみて敏に、みんなと一緒に、所沢市民の幸せを考える専門職たる市職員に力を120%発揮させ、一丸となって市を動かしていきます。

3 「福祉・自治」

絆を実感できるマチ



福祉の原点に立ち返り、助け合いの気持ちを持ち、人と人のつながりを深めていく地域コミュニティの充実とともに、子ども

もからお年寄りまで、みんなの笑顔があふれるまちづくりを進めます。

【主な施策】
▲高齢者・障害者・発達障害児等の支援の機能を持つ、「(仮称)所沢市総合福祉センター」の基本計画の策定を進めます。

▲精神障害者の方が地域の中で健やかに暮らしている支援づくりのために、「精神障害者生活支援施設研究会」を立ち上げます。

▲保育園児の保護者に対し、一日保育者体験の機会を提供します。また、公立、民間保育園52園で、元埼玉県教育委員長の松居 和さんによる保護者・保育士対象の講習会を行います。

▲市内協力医療機関での個別健診として10か月児健康診査を新設し、子どもの健康の保持・増進、育児支援の充実を図ります。

1 「教育」

日本一、子どもを大切に育てるマチ 所沢

子どもを大切に、「学ぶなら所沢の学校」と言われる教育環境を創り、子どもたちが夢と希望に満ち、たくましく学び育つマチにしていきたいです。

公約の第1に掲げた小・中学校の「3学期制の復活」や「隔週での土曜日開校」は、まだ教育委員会の理解を得られておりませんが、引き続き実現を目指して話し合いを進めていきます。



東所沢小学校での環境学習の様子

【主な施策】
▲独自事業として「学校運営マルチサポーター」を中学校に新たに配置し、授業や学校行事をはじめ校務全般にわたる必要な支援を行います。

▲小学校への「心のふれあい相談員」の配置を復活します。

▲通級指導教室と特別支援学級を増設し、障がいのある児童・生徒を支援します。

▲所沢第二幼稚園の園舎を増築し、園児の学びの場を整備します。

4 「文化・ブランド」

文化の風薫るマチ 所沢

本市には、文化・スポーツ・自然・歴史など、誇れるものが数多くあります。若者、学生、事業者など、いろいろな方の意見をいただき、市のブランド力を高め、マチを活性化します。

【主な施策】
▲既存資源を有効活用するとともに、新たな資源の発掘も図り、所沢ブランドを創造します。そして、市の魅力を内外に発信し、「選ばれらるマチ所沢」につなげます。

▲空き店舗を活用する事業者へ初期経費を補助し、商店街のにぎわいにつなげます。

5 「行政」

超親切的な市役所 所沢

行政は市民のためにあります。市職員に公務員としてのプライドを持たせ、創意工夫を伸ばし、力を120%発揮させます。

【主な施策】
▲並木まちづくりセンター・小手指公民館分館でも、住民票等各種証明書の交付を開始します。

▲図書館分館を祝日開館し、開館時間の延長を実施します。

▲家庭ごみの土曜日受け入れ(月1回)を、東部クリーンセンターで試験的に始めます。

▲新たに発足した産業経済部で、産業全体に係る企画力および推進力の強化を図ります。

市ホームページからもご覧になれます

本号では、「平成24年度市長施政方針」の主な内容について掲載しました。「平成24年度市長施政方針」の全文は、市ホームページ(「市長室」をクリック)でご覧になれます。

政策企画課
☎2998-9027
☎2994-0706

▲所沢航空発祥100周年を記念して行われた「2011折り紙ヒコーキ大会ギネスに挑戦!!」の様子

「所沢成長作戦!」人を呼び込み 歳入アップでマチの成長を!

「5つの思い」に加え、人を呼び込み、マチを成長させていくことが重要だと考えます。本市には、大きな可能性が凝り込んでいると捉え、選ばれらるマチとなるように努めます。

◆暫定調整区域や閑越自動車道の所沢インターチェンジ周辺などの都市計画を見直すなどして、企業を誘致し働く場を増やします。

◆小中高一貫の私立学校の誘致を進めます。

◆中心市街地について、人が自然に集ってくるような魅力的なまちづくりを進めます。



職員による改革改善の取り組みを発表する「有言実行発表会」の様子



荒幡富士市民の森